


グローバル化にともなう日本、UAE、オーストリアの
大学生の国際共通語として、またビジネス言語としての
英語の認識調査からの一考察

田中富士美

金沢星稜大学人文学部国際文化学科

日本英語教育学会・日本教育言語学会第47回年次研究集会

2017年3月4日

- 
- グローバル化と英語
 - 大学生への意識調査
 - 議論

英語は国際語 — 経済的視点から

言説

- ITや対人スキルを必要とするような職種からなる知識経済には英語力が不可欠
- 英語のスキルが向上すると国の経済競争力が強化される— 個人への経済的見返りも増える (Wee 2008)

Wee, L(2008) Linguistic instrumentalism in Singapore. In P. K. W. Tan & R. Rubdy (Eds.), *Language as commodity: Global structures, local market places* 31-43 London: Continuum

- 英語教育の推進を支える言語道具主義 → 国と個人の両レベルにおいて、英語の熟達度に応じて経済的利益が得られる → 知識経済における人的資本（新自由主義的言説—市場原理優先）に呼応 (久保田 2015)

久保田竜子(2015) 『グローバル化社会と言語教育—クリティカルな視点から』 くろしお出版

「英語が使える日本人」(文部科学省 2002)

文部科学省(2002)「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想の策定について

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/020/sesaku/020702.htm

経済・社会等のグローバル化が進展する中、子ども達が21世紀を生き抜くためには、国際的共通語となっている「英語」のコミュニケーション能力を身に付けることが必要であり、このことは、子ども達の将来のためにも、我が国の一層の発展のためにも非常に重要な課題となっている。

グローバル人材とは(文部科学省 2012)

文部科学省(2012) グローバル人材の育成について

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/047/siryo/_icsFiles/afieldfile/2012/02/14/1316067_01.pdf

- グローバル化が進展している世界の中で、主体的に物事を考え、多様なバックグラウンドをもつ同僚、取引先、顧客等に自分の考えを分かりやすく伝え、文化的・歴史的なバックグラウンドに由来する価値観や特性の差異を乗り越えて、相手の立場に立って互いを理解し、更にはそうした差異からそれぞれの強みを引き出して活用し、相乗効果を生み出して、新しい価値を生み出すことができる人材。
- 世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間。

○ 「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素。

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

○ このほか、幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワークと（異質な者の集団をまとめる）リーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等。

○ グローバル人材の能力水準の目安を(初歩から上級まで)段階別
に示すと、

① 海外旅行会話レベル② 日常生活会話レベル③ 業務上の文書・会話レベル④ 二者間折衝・交渉レベル⑤ 多数者間折衝・交渉レベル

この中で、①②③レベルのグローバル人材の裾野の拡大については着実に進捗。今後は更に、④⑤レベルの人材が継続的に育成され、一定数の「人材層」として確保されることが極めて重要。

英語の習得

English as a Lingua Franca

国際共通語としての英語

English as a Lingua Franca

「国際共通語としての英語」の概念

- 英語によるグローバルコミュニケーションの多くは非母語話者間で行われており母語話者とは異なる方法で意味交渉を行う 母語話者による規範や正確性は無関係

(Seidlhofer 2004)

Seidlhofer, B. (2004) Research Perspectives On Teaching English As A Lingua Franca. *Annual Review of Applied Linguistics* (2004) 24, 209-239 Cambridge University Press

Lingua Francaの変遷 (Weber 1999)

Weber, G(1999) Top Languages : The World's 10 Most Influential Languages. *AATF National Bulletin*, Vol. 24, No. 3 (January 1999) 22-28 <http://french.server276.com/bulletin/articles/promote/advocacy/useful/toplanguages.pdf>

	Western	Mediterranean	Eastern	Middle East	Indian Subcontinent
1000 BC		Phoenician Greek	Sumerian Akkadian		Sanskrit
500 BC	Greek Latin	Greek	Aramaic		
0					
500 AD	Latin	Greek	Arabic		Sanskrit

近世のLingua Franca

英語は歴史上かつてないほどcommon language (lingua franca)としての広まりを見せている。

ヨーロッパでは . . .

歴史的にはローマ帝国時代のラテン語、19世紀半ばまでのハプスブルグ王朝を中心としてヨーロッパで使用されたドイツ語、その後のロシア語。

そして今、英語がその位置に。

(The Economist August 7th 2004:33-34)

優勢言語 Dominant Language

- ある一つの言語が突出した地位を得れば、その言語の元々の話者が社会的、経済的に有利な立場におかれる。それはひとえにその優勢言語の言語能力にすぐれているからとされる (Garcia & Mason, 2009)

Garcia, O. and Mason, L. 2009. Where in the World is US Spanish? Creating a Space of Opportunity for US Latinos. In W. Harbert, S. McConnell-Ginet, A. Miller, and J. Whitman (eds.) *Language and Poverty*. Tonawanda, NY: Multilingual Matters.

英語は「優勢言語」か

言説

- ITや対人スキルを必要とするような職種からなる知識経済には英語力が不可欠
- 英語のスキルが向上すると国の経済競争力が強化される一人への経済的見返りも増える (Wee 2008)

Wee, L(2008) Linguistic instrumentalism in Singapore. In P. K. W. Tan & R. Rubdy (Eds.), *Language as commodity: Global structures, local market places* 31-43 London: Continuum

- 英語教育の推進を支える言語道具主義 → 国と個人の両レベルにおいて、英語の熟達度に応じて経済的利益が得られる → 知識経済における人的資本（新自由主義的言説—市場原理優先）に呼応 (久保田 2015)

久保田竜子(2015)『グローバル化社会と言語教育—クリティカルな視点から』 くろしお出版

ことばの経済学 (Coulmas 1993)

フロリアン・クルマス Florian Coulmas(1993) 『ことばの経済学』 諏訪功／菊池雅子／大谷弘道 訳 大修館書店

- 「言語は富である」
- 言語は手段であるから価値ではない。しかし言語は価値を有する。お金の所有と同じように言語の所有は個人の活動の場を広げて豊かにする可能性を含んでいる

調査の概要

ウィーン, オーストリア

- University of Vienna / Universität Wien
- Vienna University of Economics and Business

ドバイ, アラブ首長国連邦

- Zayed University (英語話者の教員を招聘、教育言語は英語、生活言語はアラビア語)

東京, 日本

2016年3月までの勤務校

オーストリア

- ドイツ語の国家レベルの単独公用性をもつ国（ドイツ、リヒテンシュタイン、オーストリア）のひとつ
- ドイツ語を公用語とする国はイタリア（南チロル）、スイス、ドイツ、ベルギー（東部ドイツ語地区）リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、オーストリア

(高橋 2010)

高橋秀彰(2010)『ドイツ語圏の言語政策』関西大学出版部

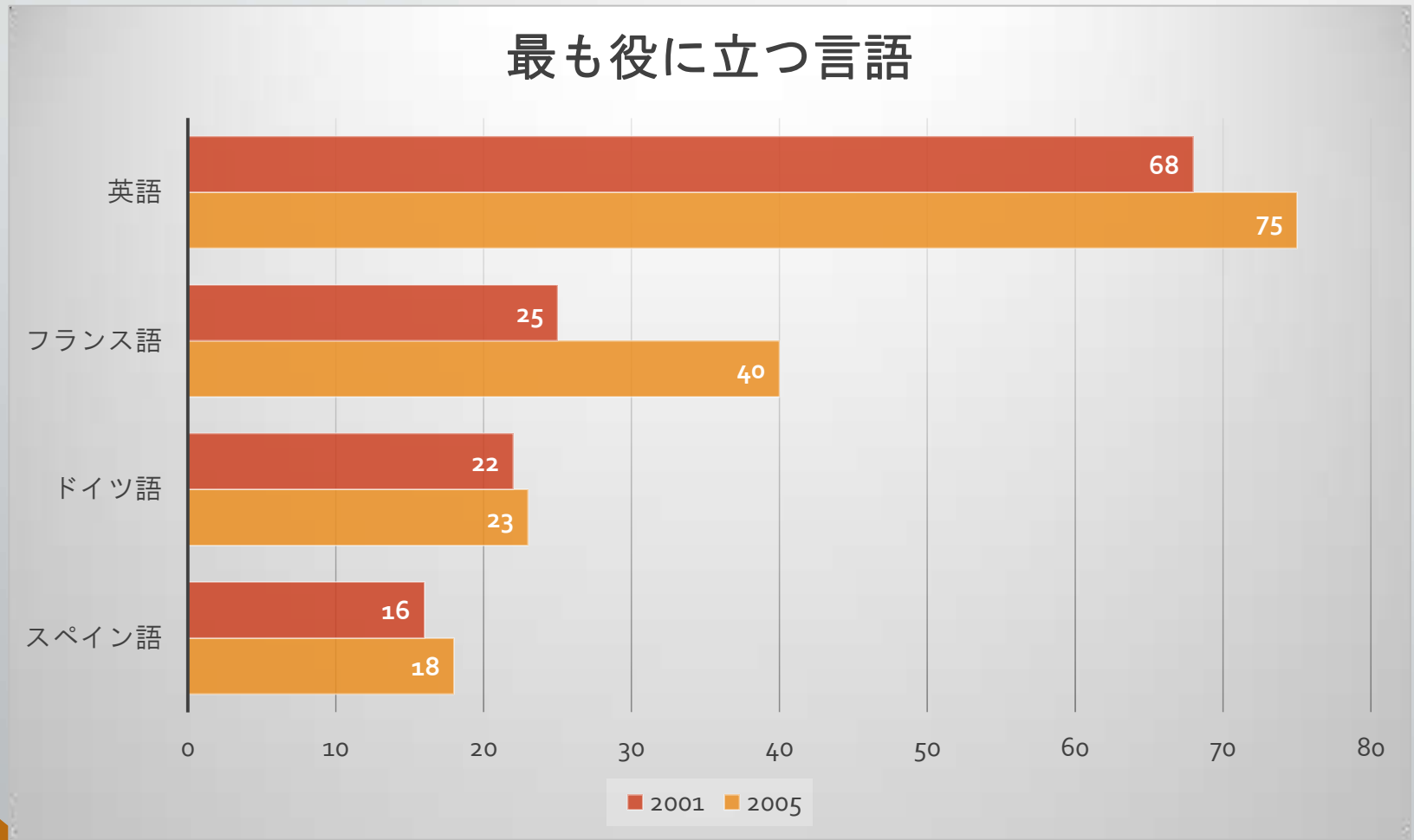
- 1995年EU加盟
- 1994年オーストリア・ドイツ語検定試験制定（オーストリア変種）の国際的周知 →以後、スイス、ドイツの標準変種も入れ複中心地性を強調
- EU内での作業言語としてのドイツ語のEU公用語であるドイツ語をEUの国際的な場で使用するか、EU中心言語である英語・フランス語を使用するかはドイツ語の平等性をめぐり政府内で意見が分かれる。EU公務員レベルでは英語の使用を優先
- 外国語教育、小学校からの英語プラス第二外国語教育（高橋2010）

母語以外で最も役に立つ言語

EU Special Eurobarometer 243, 2006

(高橋 2010 をもとに筆者作成)

高橋秀彰(2010) 『ドイツ語圏の言語政策』 関西大学出版部

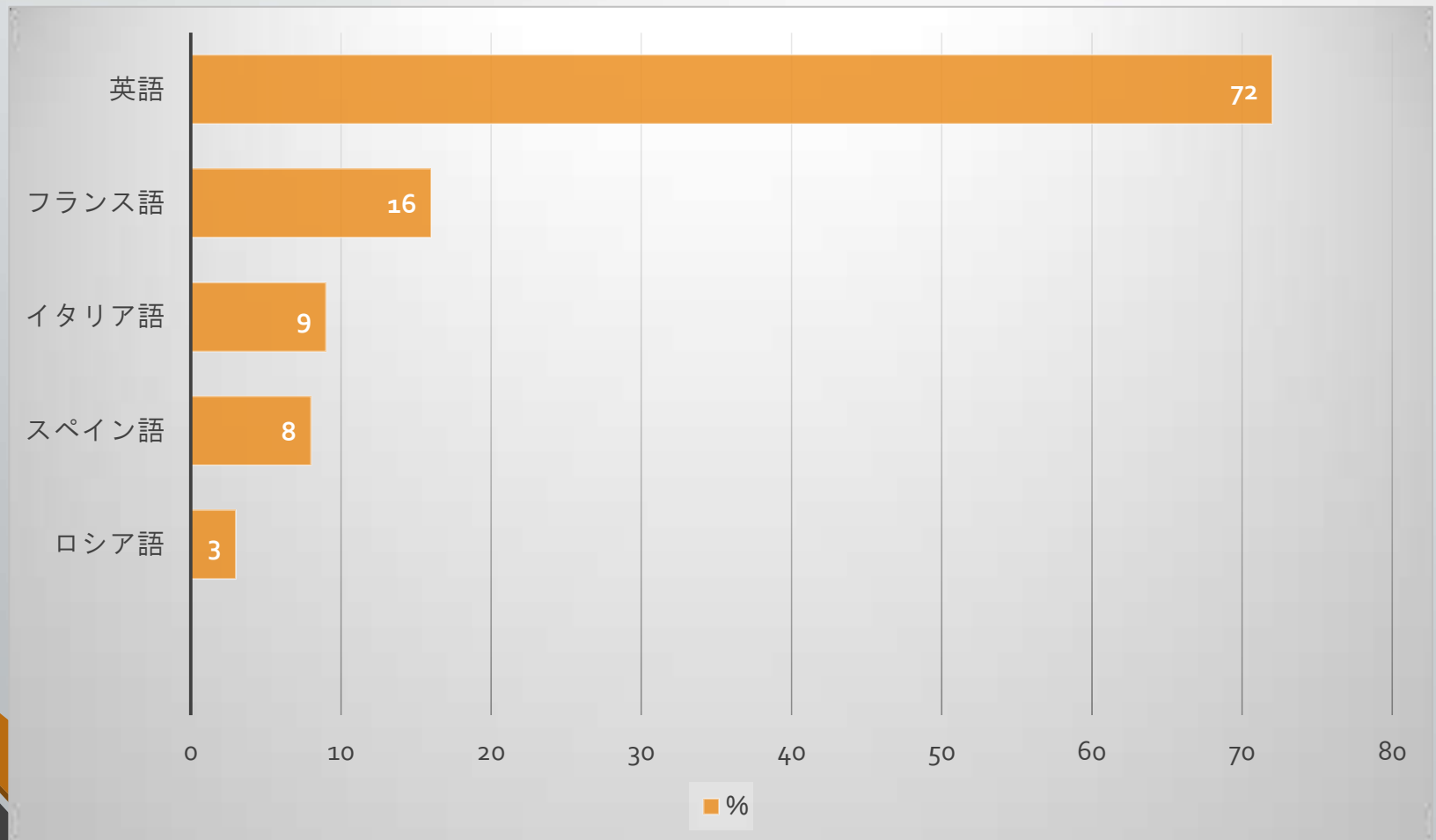


母語以外で自身の成長とキャリアに最も役に立つ言語（2言語選択）オーストリアのデータ

EU Special Eurobarometer 243, 2006

(高橋 2010 をもとに筆者作成)

高橋秀彰(2010) 『ドイツ語圏の言語政策』 関西大学出版部



UAE アラブ首長国連邦

- 1968年、アラブ首長国連邦の人口は20万に満たなかったが、2011年には6百万ほどに膨れ上がっている。6百万の人口のうち、首長国のアラブ人(Emirati)は2割にもならず、大多数は、インド、パキスタン、バングラデッシュ、フィリピン、スリランカ、イラン、そしてその他のアジアやアラブ国の人々である
- 1971年にアブダビ、ドバイ、シャールジャ、アジュマーン、ウムム・アル＝カイワイン、フジャイラの各首長国が集合して、連邦を建国し、1972年、ラアス・アル＝ハイマが加入して、7首長国による連邦となった。
- (ハッサル、竹下、田中2011)

ドバイの労働市場層 (佐野2009をもとに筆者作成)

佐野陽子（2009）『ドバイのまちづくりー地域開発の知恵と発想』慶応義塾大学出版会

公務員（政府関係者）

経営管理者
経営スペシャリスト

中間管理職

一般ホワイトカラー
(事務・営業職など)

技術労働者
(秘書・ドライバーなど)

一般労働者
(単純作業・ハウスメードなど)

- Emirati エミラティの人口比率は13%
- 200以上の国からの人が集まる
- 英語が国内共通語の位置

(斎藤 2010)

- UAEは大学教育を英語で行うことを選択
 - The National UAE(2010年10月)「英語で学ぶことはローカルアイデンティティを弱体化させる」
 - 2010-2020教育戦略「エミラティ教育者の増強とアラビア語での教育を支持」

(田中 2015)

田中富士美(2015)「第8章 アラブ首長国連邦(UAE)ドバイにおける英語と経済—UAEナショナル/エミラティの女子大生の意識調査に基づく報告」杉野俊子/原隆幸編『言語と格差』明石書店

調査の経緯

- ウィーン、ドバイ

2012年に大学を訪問、現地の先生方、博士課程学生、学部学生と交流をもった。調査の主旨を説明し、依頼。質問項目をすべての先生方に送り事前に精査してもらう。ドバイは学内の倫理委員会の審議にかけていただく経緯を得た。

2013年末までに、それぞれの先生方が学生にQuestionnaireを配布し、授業の教室内で書いてもらう。郵送で受け取った。

学生の内訳

ウィーン

University of Vienna 学部生 言語学専攻24名 (Professor Barbara Seidlhofer)

Vienna University of Business and Economy

学部生21名 (計45名)

ドバイ

Zayed University 学部生 情報通信、心理学、
インテリアデザイン、マルチメディアデザイン、
国際関係、ビジネス、会計学、
グラフィックデザイン専攻 59名

東京

2016年3月までの勤務校学部生 英文、仏文、児童心理専攻 41名

University of Vienna /Universität Wien ウィーン大学



- (2012年3月筆者撮影)
- 1365年創立の、ドイツ語圏最古・最大の大学である。

Vienna University of Economics and Business

- EU最大の経営・経済大学

Zayed University ザーイド大学

- ドバイ皇太子でUAE国防大臣のシェイク・モハメッド・ビン・ラーシド・アル・マクトゥムの発案であるユニバーシティ・シティにある。1988年にアブ・ダビ(AUH)とドバイ(DXB)に作られた。建国者である故ザーイド・ビン・スルターン・アル・ナヒヤーン殿下の名をとり、女子大学としてスタート。アラブ首長国連邦の将来が安全で発展的であるために必要な知識と能力を備えた男女のリーダーの育成を重んじる。(ハッサル、竹下、田中 2011)

Hassal, P.(2011) *Facets of Emirati Women: Japanses/English ESSC E-Book* 竹下裕子/田中富士美 編訳 アルクコミュニケーションズ(電子書籍 Amazon USA, Amazon UK, Amazon Germany)

Zayed University, UAE



(2012年3月筆者撮影)

質問項目

English belongs to UK, US, Canada, New Zealand and Australia. (Inner Circle Nations)

英語は英語を母国語としている国のものである。

English is recognized as a lingua franca(a language for international or transnational communication) 英語は国際言語（国際共通語）として認識されている

English proficiency helps to communicate with a wider population. 英語を使える能力はより多くの人々とのコミュニケーションに有用である

English speaking/writing ability makes it possible to share our messages with more people in the world. 英語を話し、書く能力は世界のより多くの人たちとメッセージをシェアしあうことを可能にする。

I use SNS(facebook, myspace, twitter and others) in English.SNSに英語で書くことがある

I use English to communicate with non-native English speakers. 非母語話者と英語で話すことがある

English as lingua franca in business in the world, FOR or AGAINST 世界におけるビジネスで英語が共通言語となることに賛成か反対か

If a group of people comprising mainly Austrian/Emirati/Japanese also includes one or more NNS or NS English speaking foreigners, everybody should speak English. 自国母語話者のグループにひとりふたり英語の非母語話者あるいは母語話者の外国人がいた場合そこでは英語で話すのが妥当である

I feel strange to see a group of Austrian/Emirati/Japanese speak only English amongst themselves. 自国母語話者だけのグループで英語で会話がなされていた場合違和感をおぼえる

I am interested in a job opportunity which requires English skill.
英語能力を求められる職業に就くことに興味がある

I will need to use English regardless of whether I like it or not,
doing business in the future. 将来就職したあといずれにせよ
英語を使う必要性があると思う

If I have some facility in English, it is beneficial and advantageous
for better job opportunity. 英語能力を持っていることは職を
得るために有利であり有益である

English proficiency helps to climb the social ladder or to get economic advantage.

英語能力をもっていることは経済的優位性をもち社会的地位を得ることに役立つ

My English ability is adequate for working in those circumstances which has social and economic advantages.

私の英語能力は前の質問のような場で活かすに十分である

My English proficiency is sufficient for working worldwide. 私の英語能力は世界的規模で働くに十分である

- オレンジ棒 ウィーン
- 赤棒 ドバイ
- カーキ棒 東京

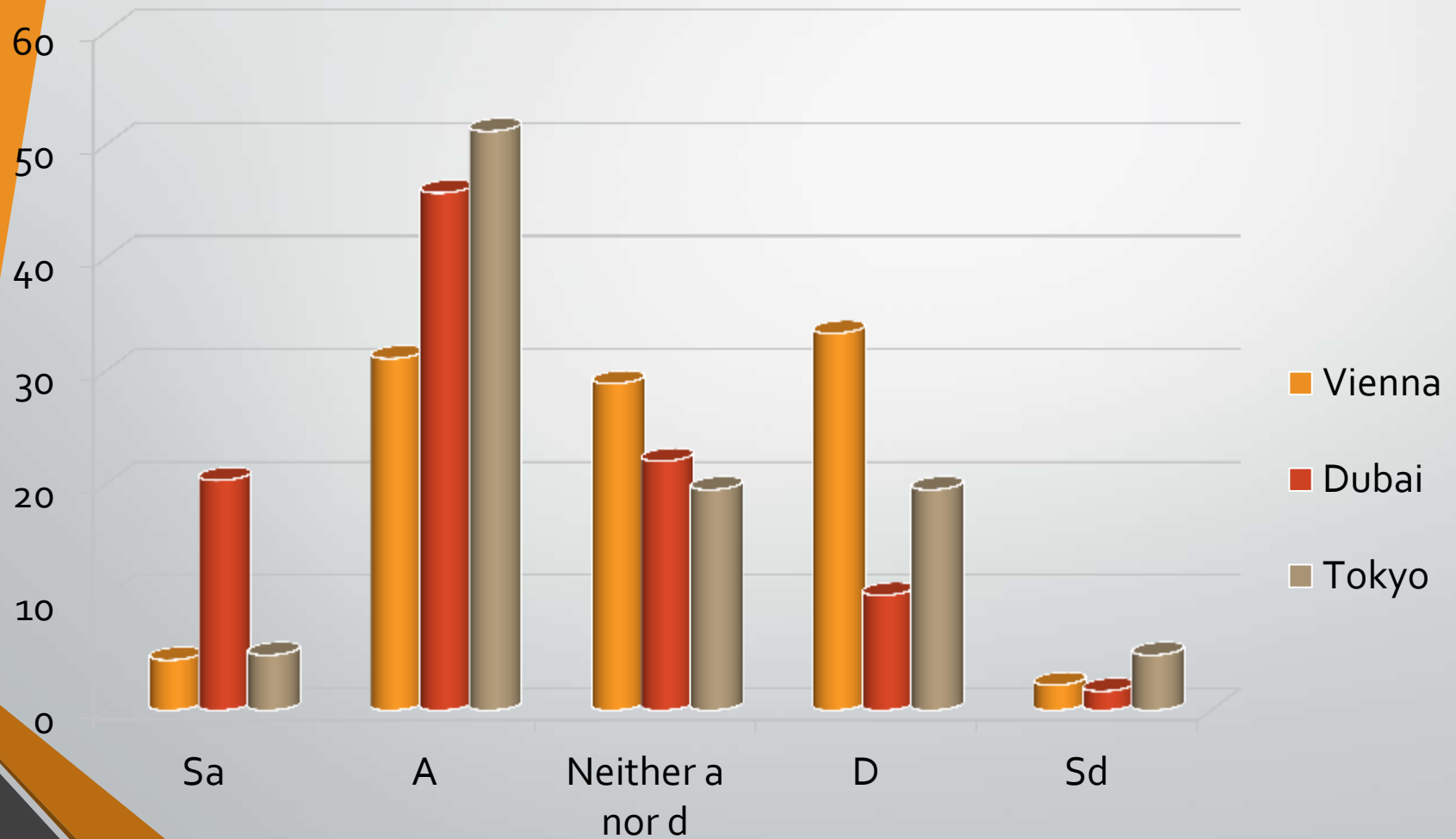
(Yes, No Questionを除く)

- 数字はパーセンテージ
- 左から

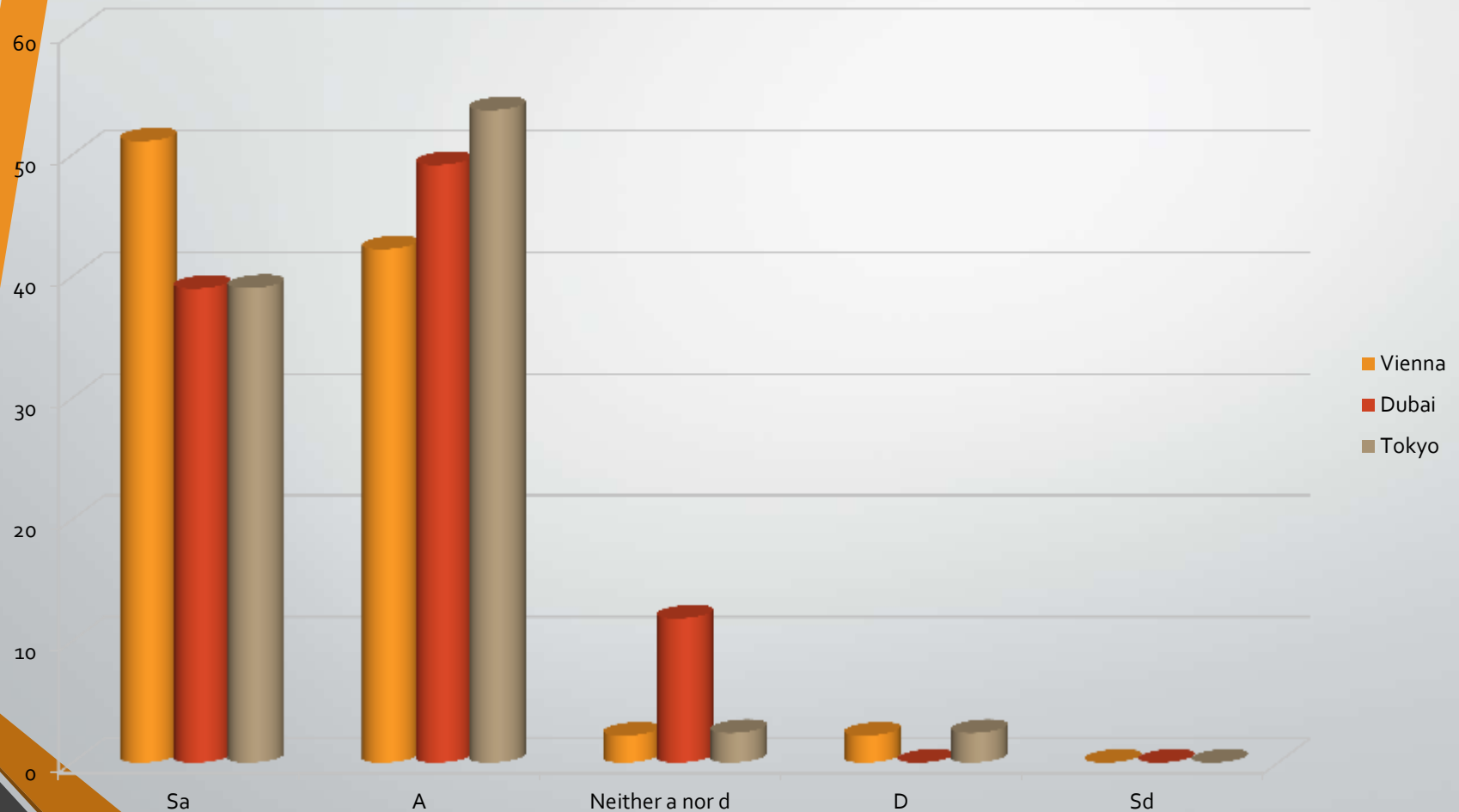
Strongly agree, Agree,
Neither agree nor disagree,
Disagree, Strongly disagree

1, English belongs to UK, US, Canada, New Zealand and Australia. (Inner Circle Nations)

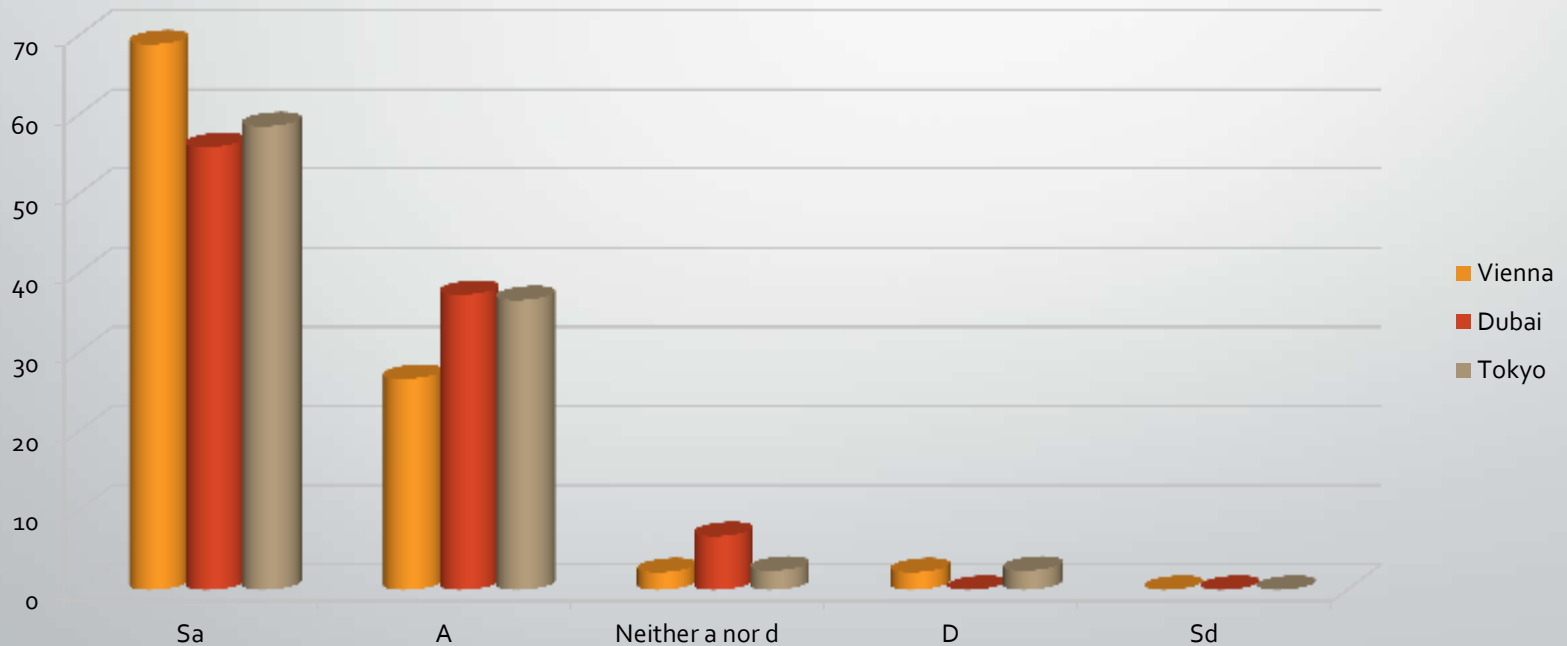
英語は英語を母国語としている国のものである。



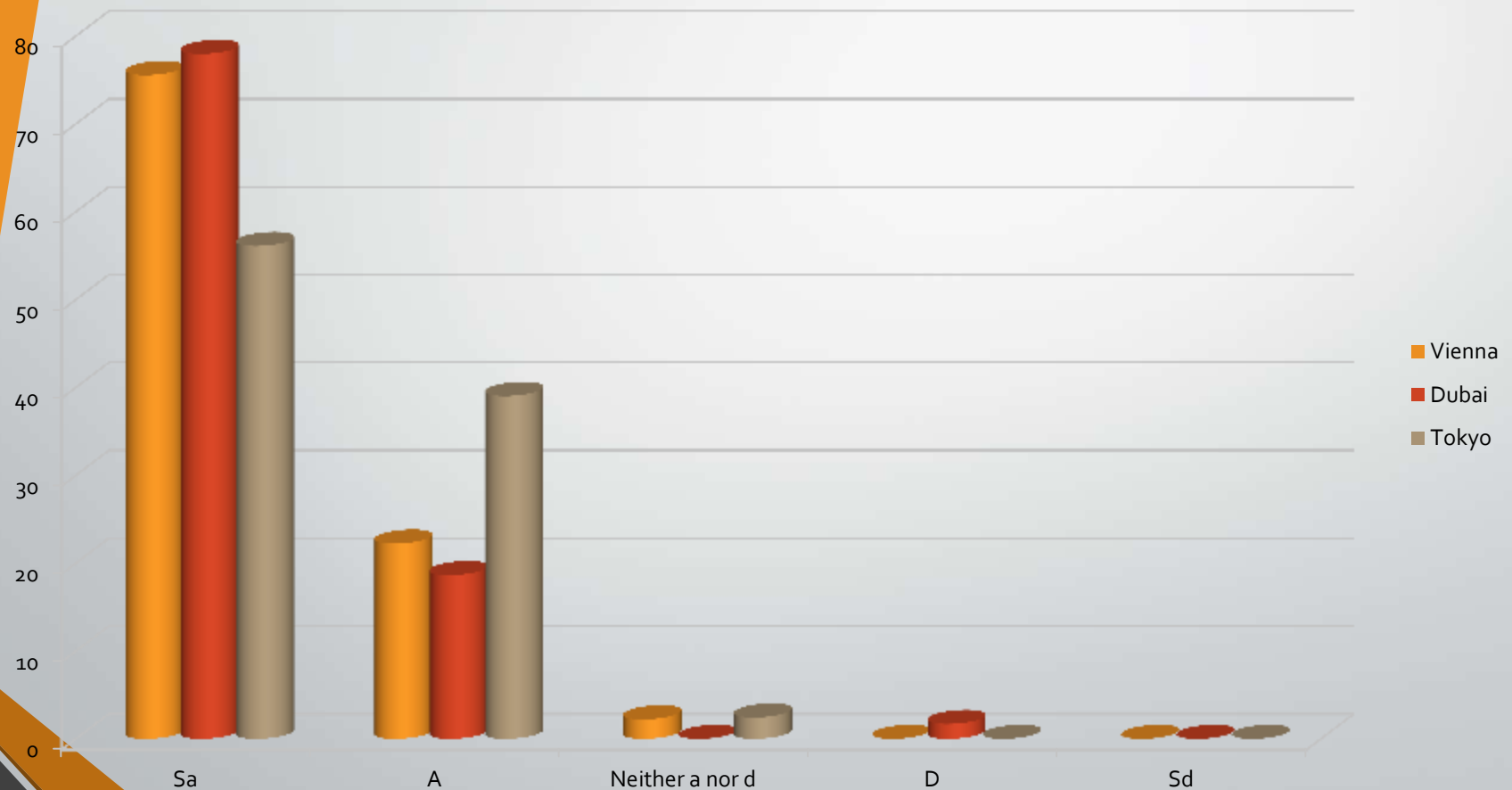
2, English is recognized as a lingua franca(a language for international or transnational communication) 英語は国際言語（国際共通語）として認識されている



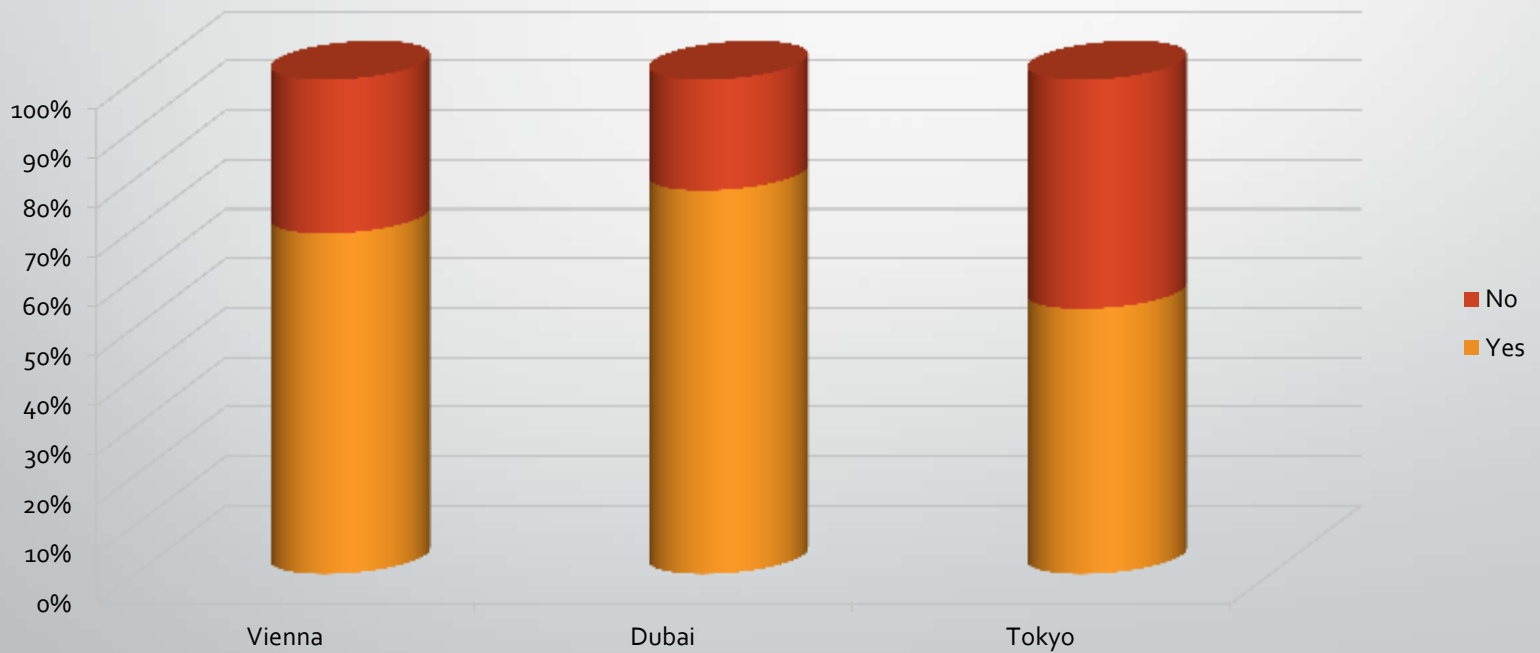
3, English proficiency helps to communicate with a wider population. 英語を使える能力はより多くの人々とのコミュニケーションに有用である



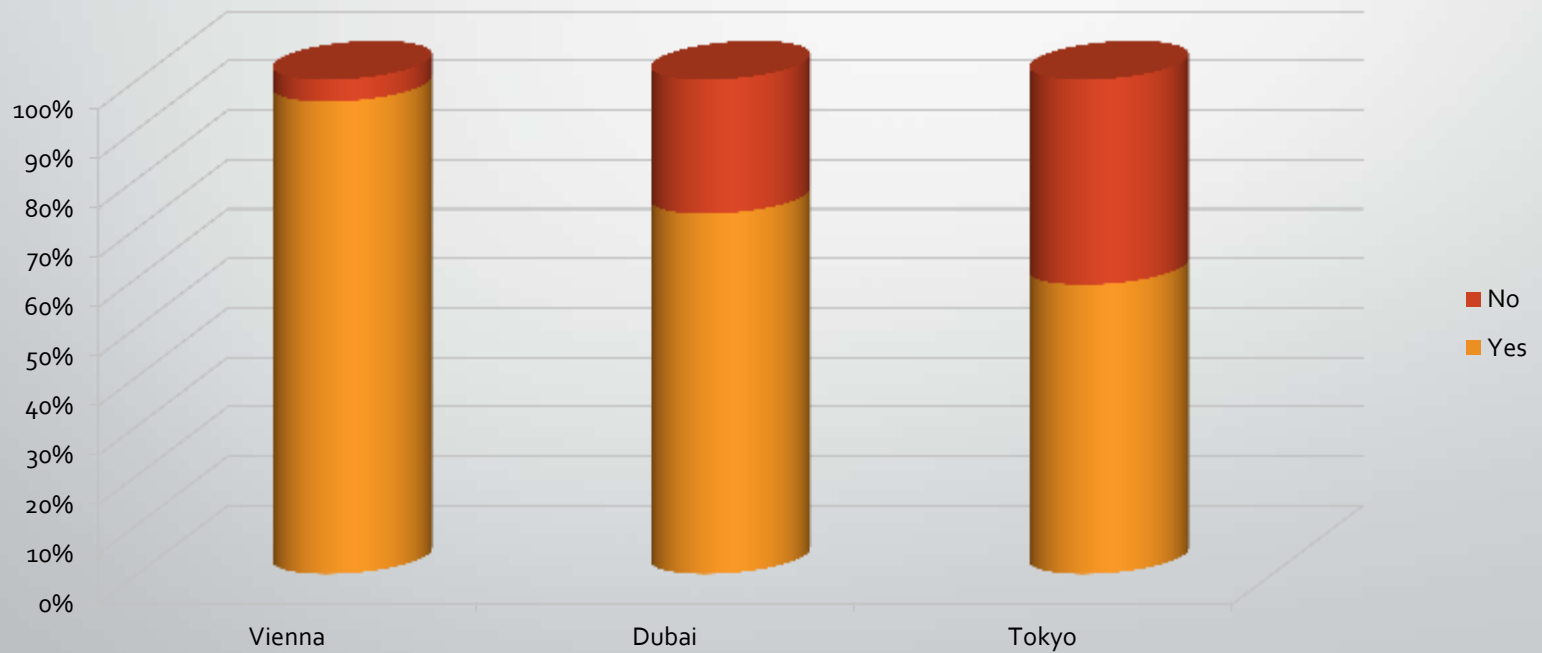
4, English speaking/writing ability makes it possible to share our messages with more people in the world. 英語を話し、書く能力は世界のより多くの人たちとメッセージをシェアしあうことを可能にする。



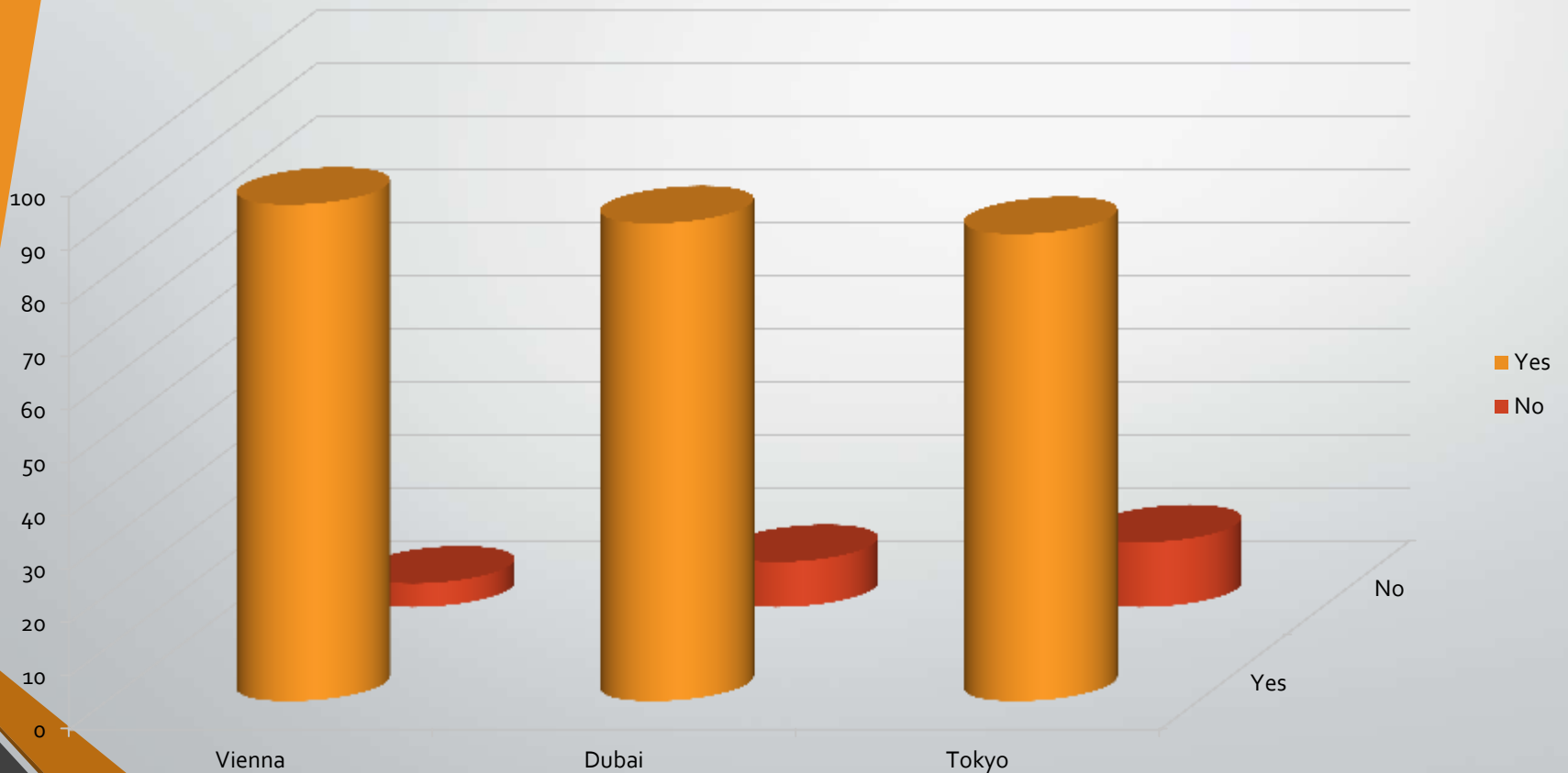
5, I use SNS (facebook, myspace, twitter and others) in English. SNSに英語で書くことがある



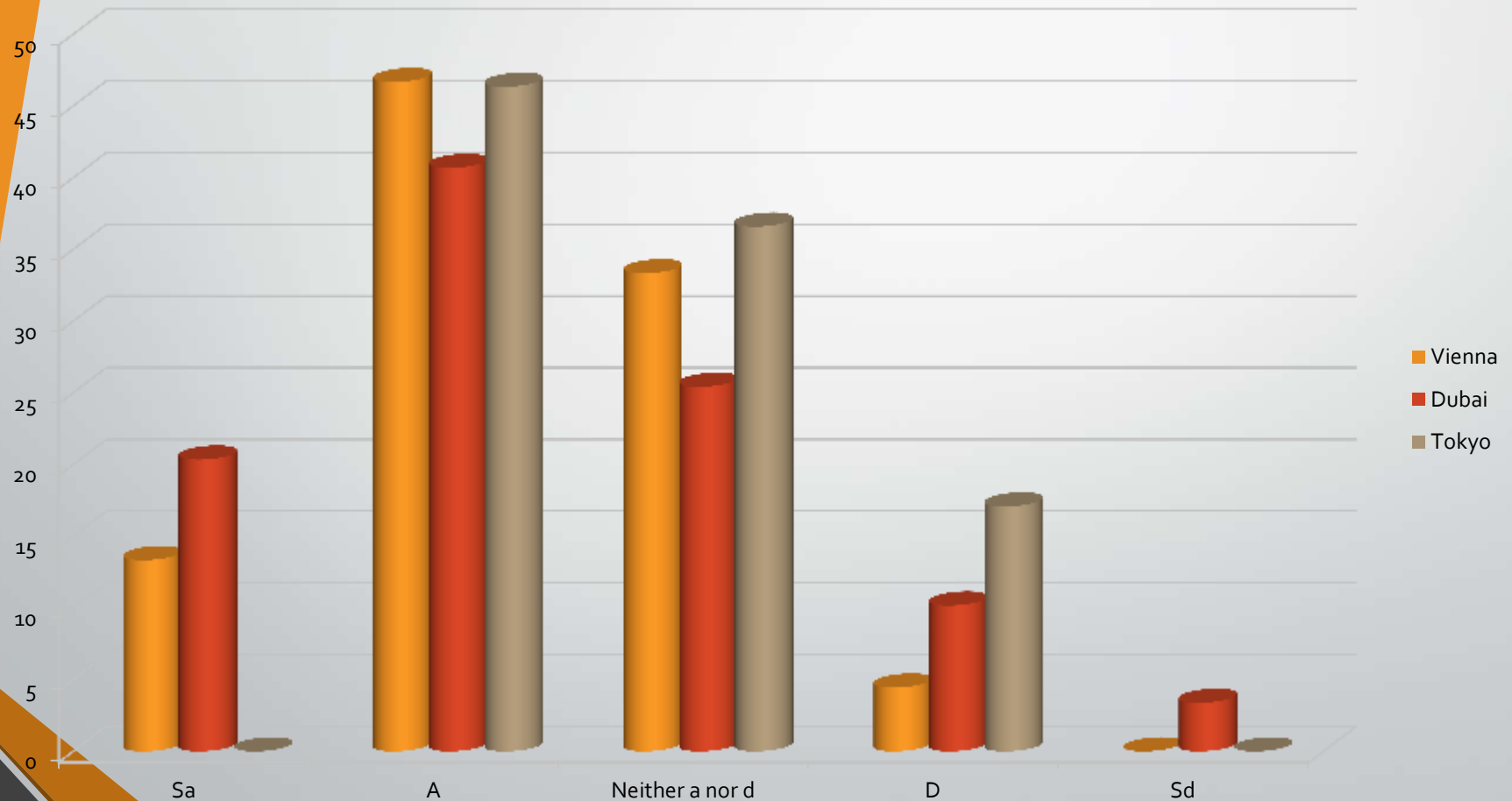
6, I use English to communicate with non-native English speakers. 非母語話者と英語で話すことがある



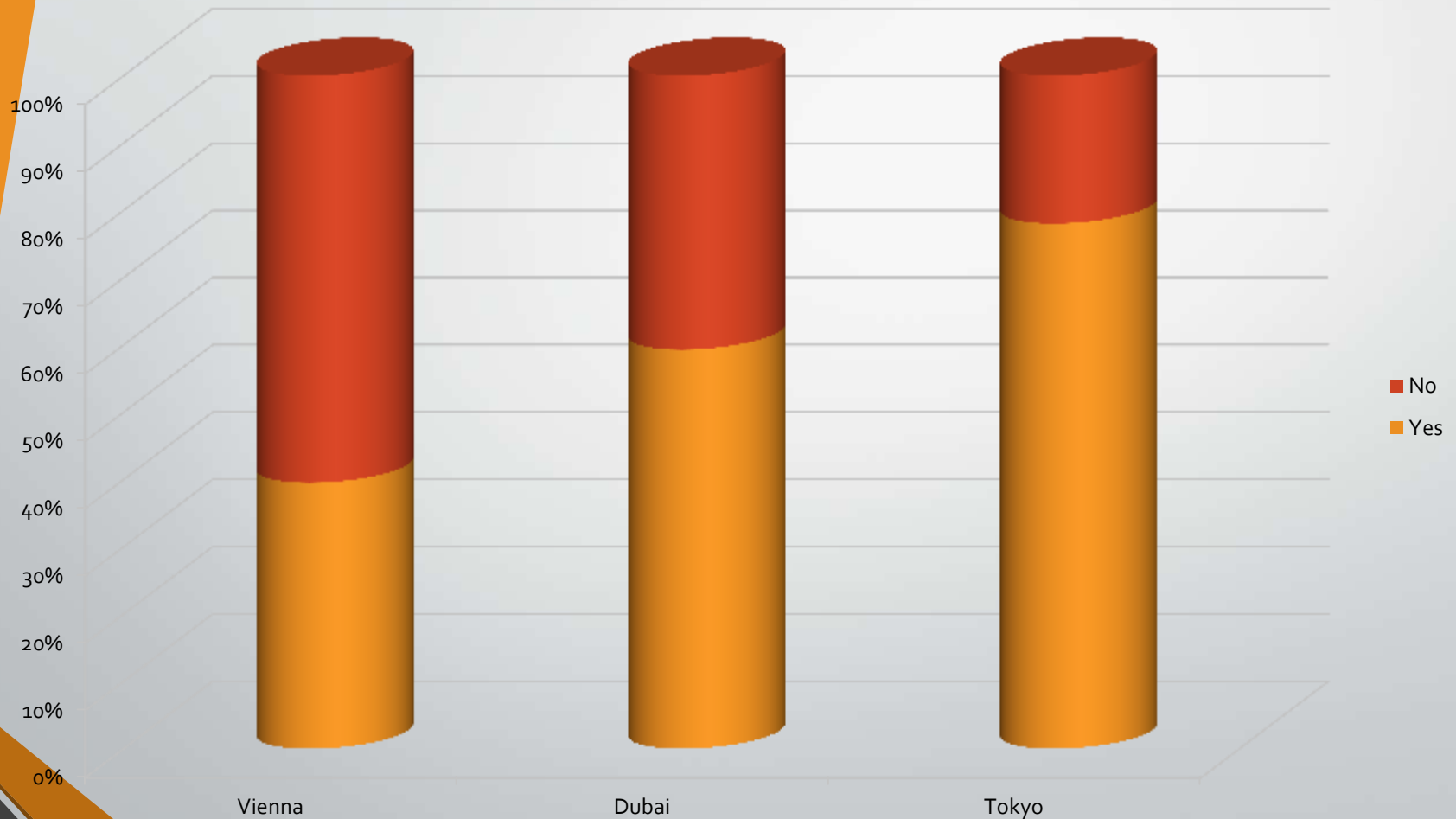
7, English as lingua franca in business in the world, FOR or AGAINST 世界におけるビジネスで英語が共通言語となることに賛成か反対か



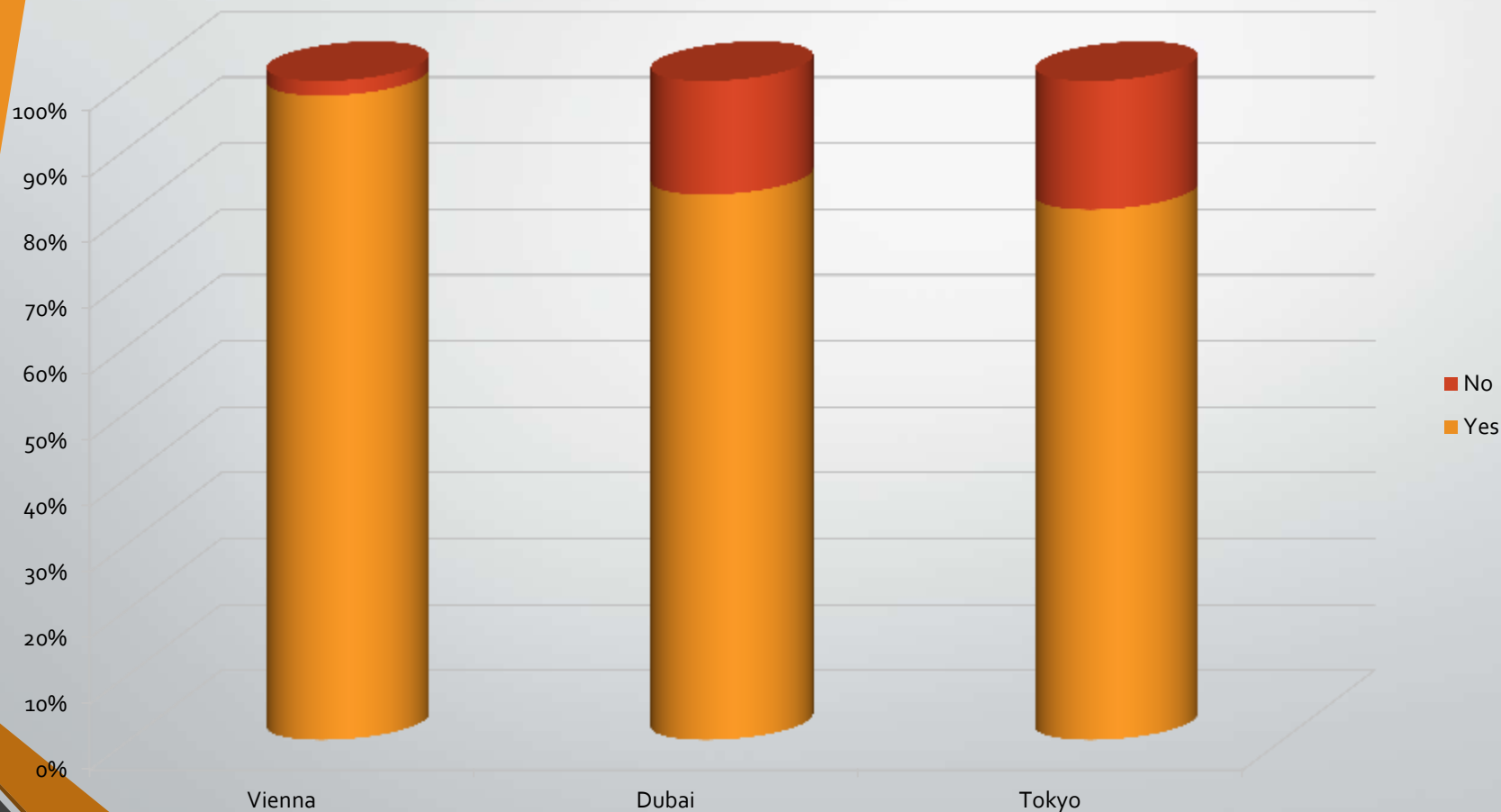
8, If a group of people comprising mainly Austrian/Emirati/Japanese also includes one or more NNS or NS English speaking foreigners, everybody should speak English. 自国の母語話者のグループにひとりふたり英語の非母語話者あるいは母語話者の外国人がいた場合そこでは英語で話すのが妥当である



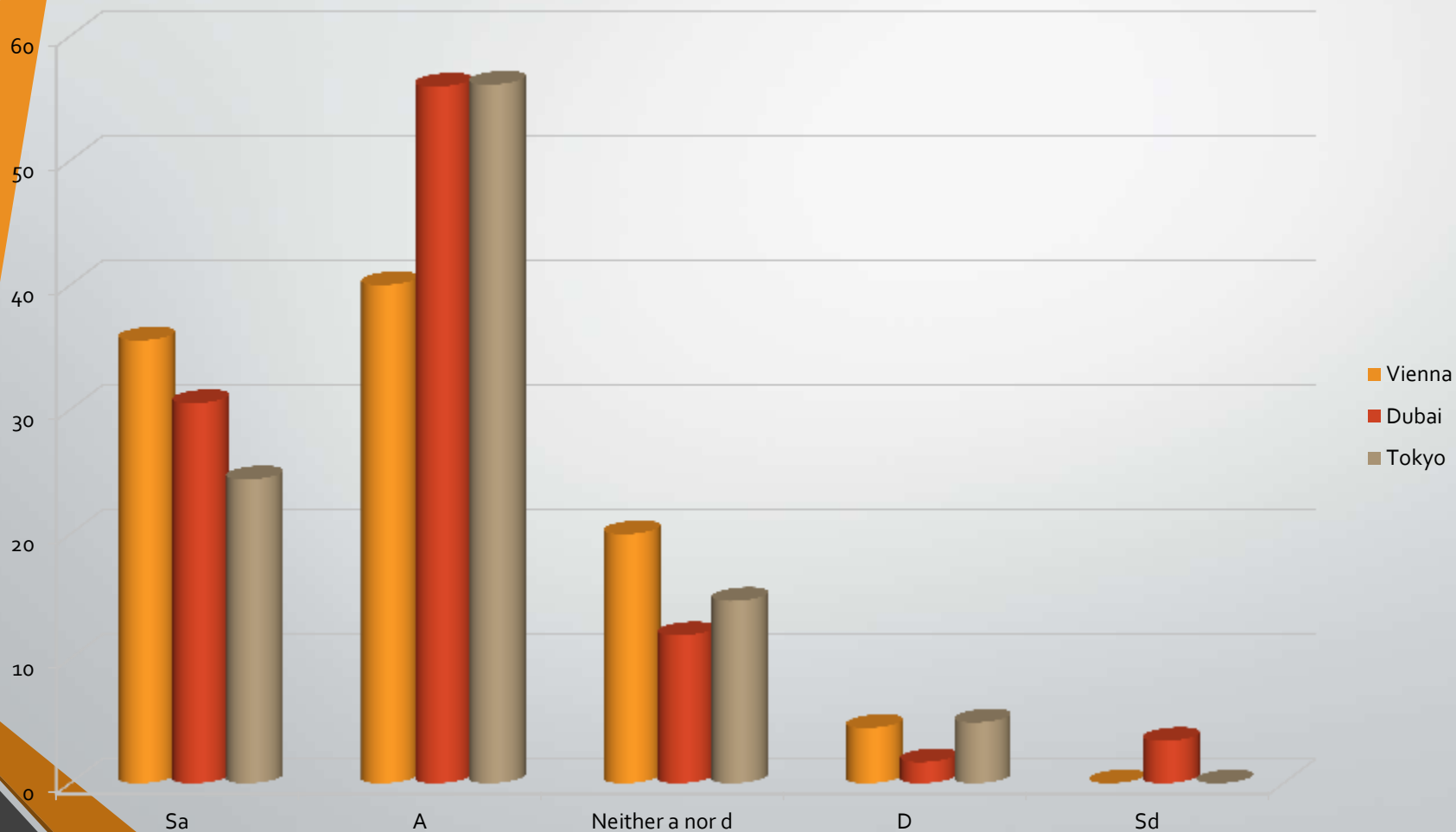
9, I feel strange to see a group of Austrian/Emirati/Japanese speak only English amongst themselves. 自国の母語話者のグループで英語で会話がなされていた場合違和感をおぼえる



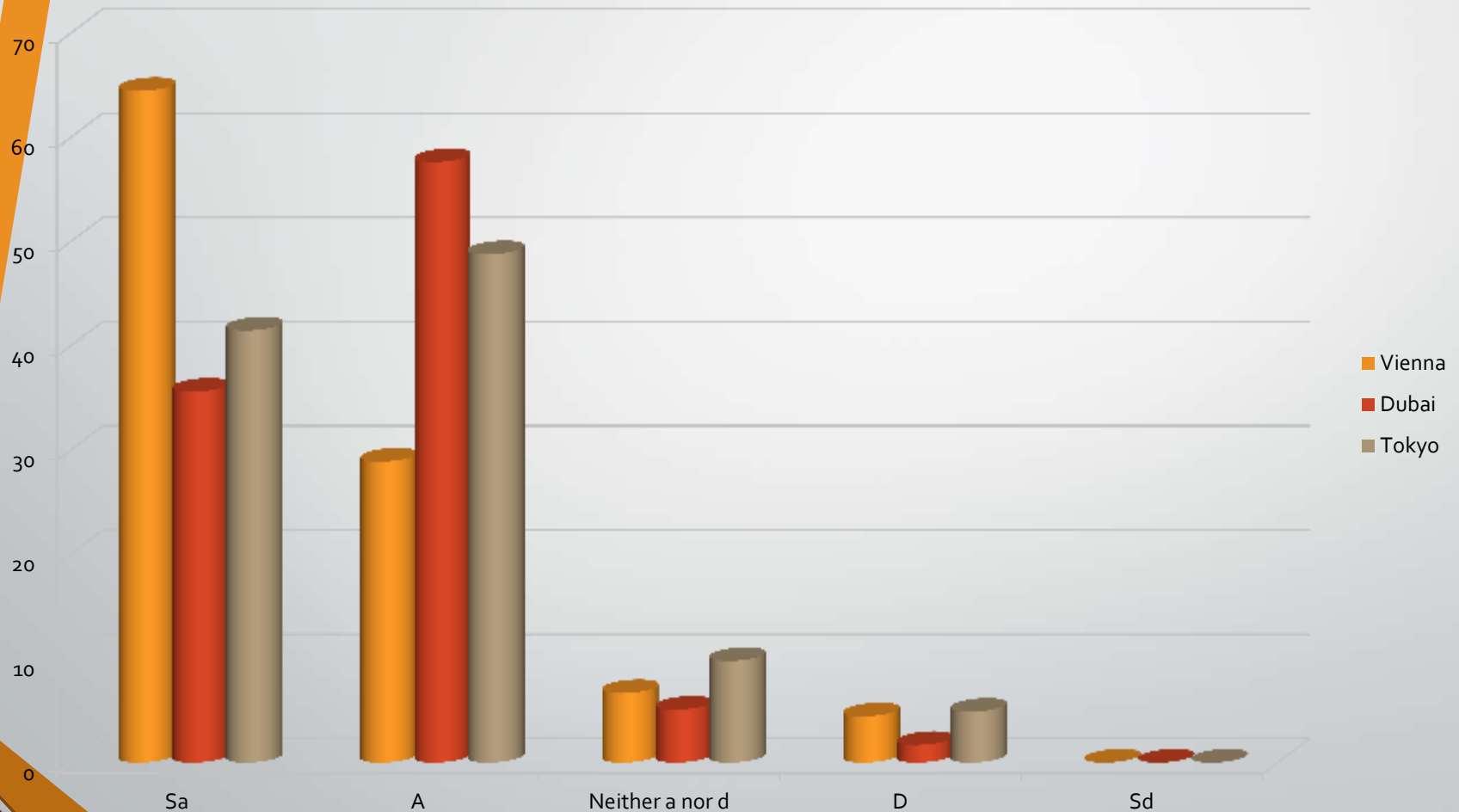
10, I am interested in a job opportunity which requires English skill. 英語能力を求められる職業に就くことに興味がある



11, I will need to use English regardless of whether I like it or not,
doing business in the future. 将来就職したあといずれにせよ
英語を使う必要性があると思う

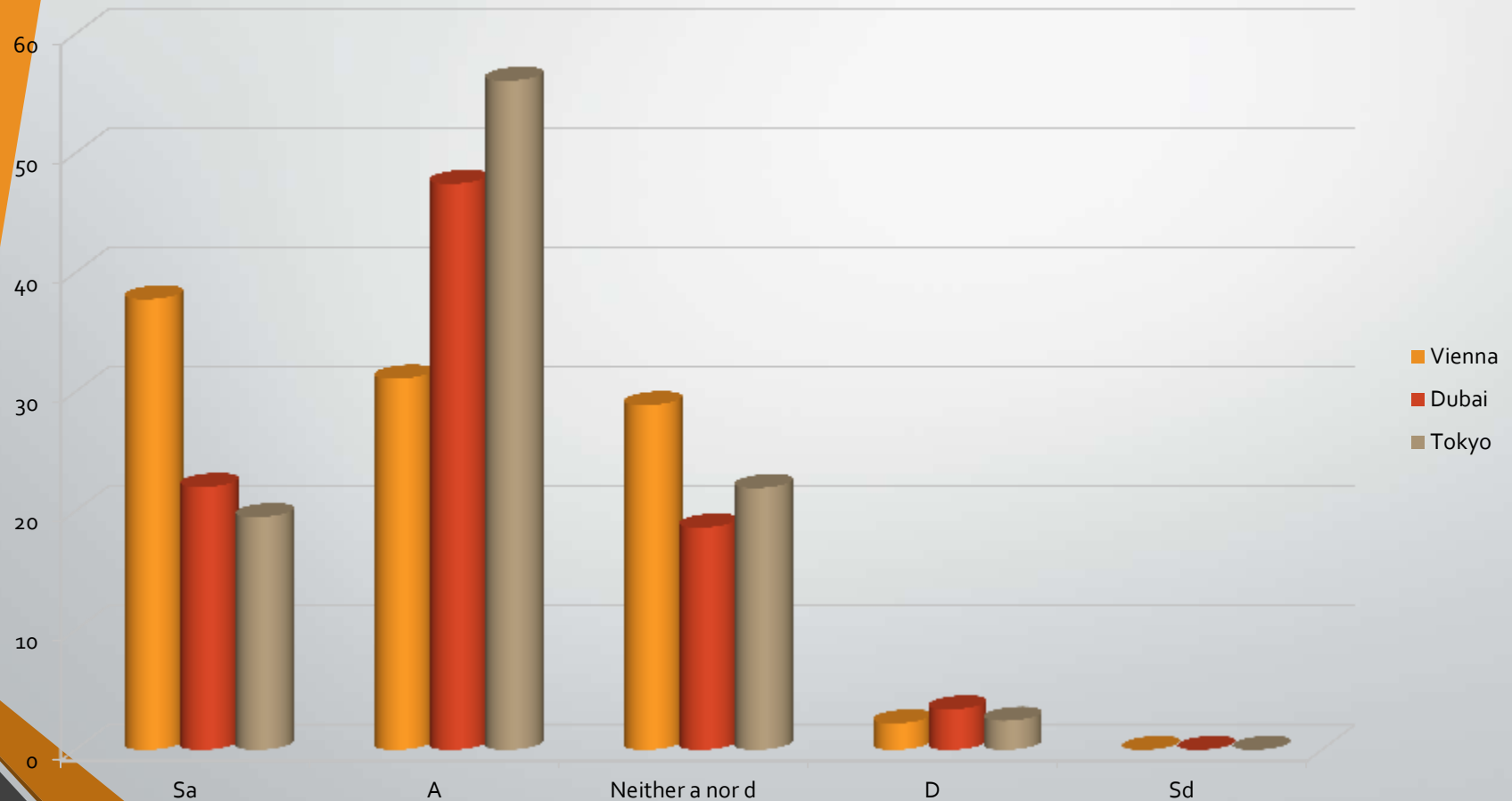


12, If I have some facility in English, it is beneficial and advantageous for better job opportunity. 英語能力を持っていることは職を得るために有利であり有益である

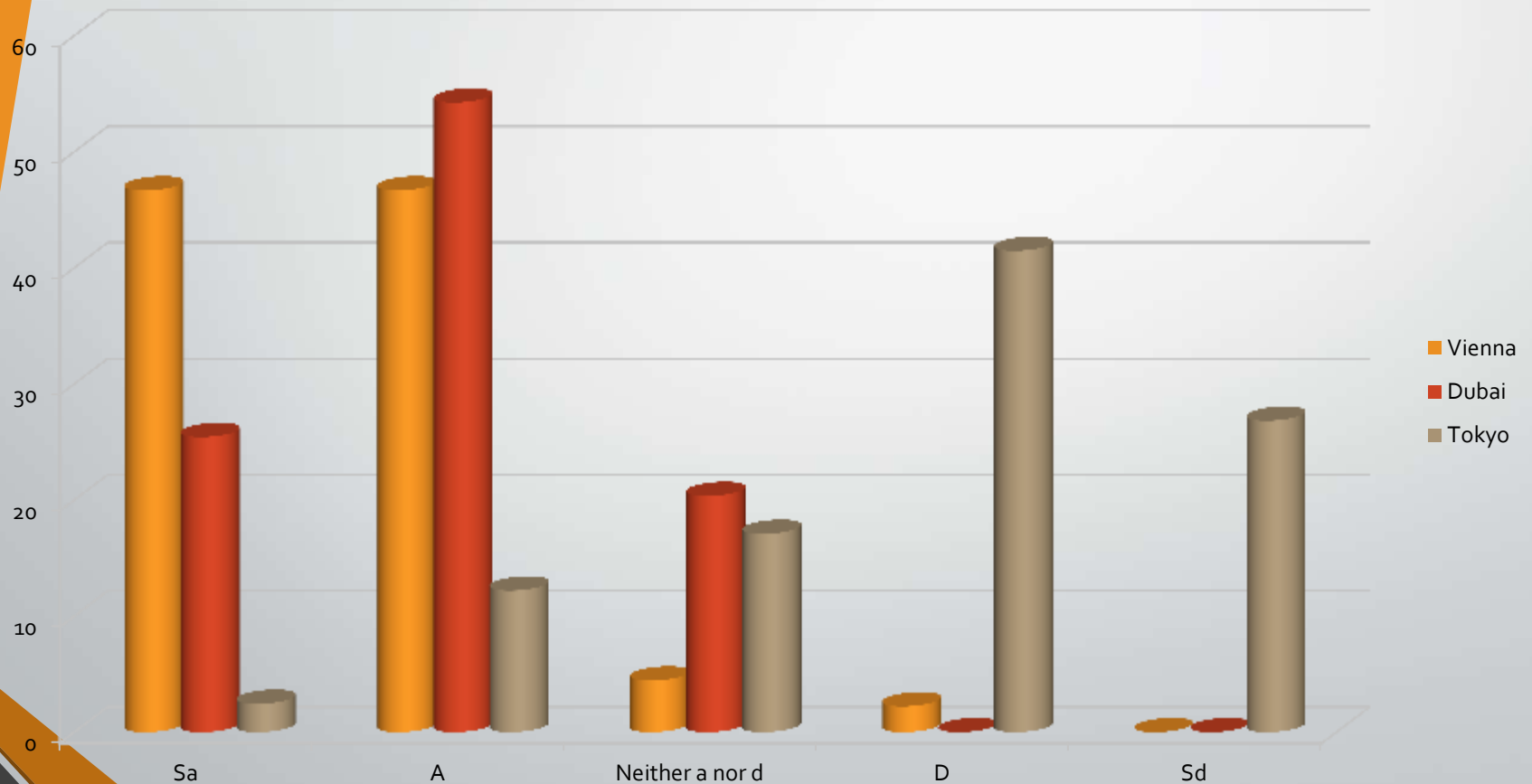


13, English proficiency helps to climb the social ladder or to get economic advantage.

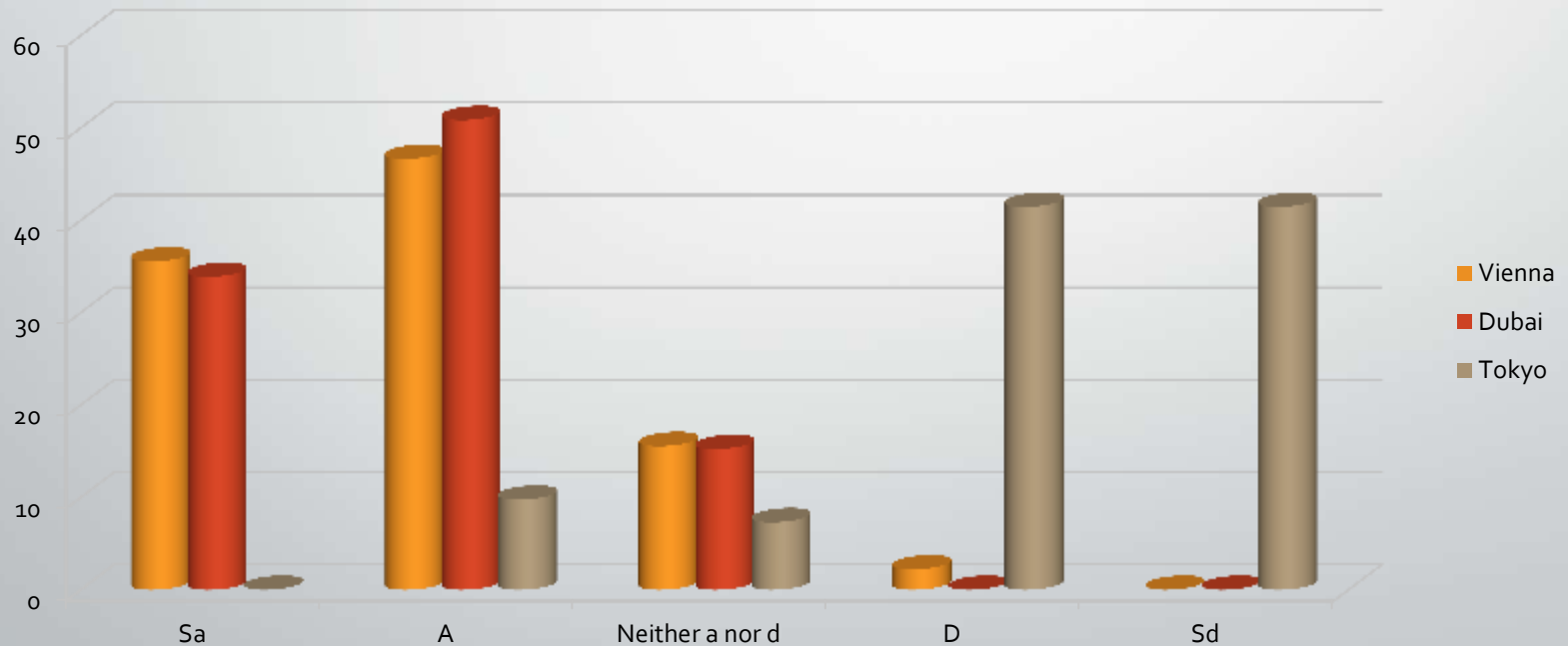
英語能力をもっていることは経済的優位性をもち社会的地位を得ることに役立つ



14, My English ability is adequate for working in those circumstances which has social and economic advantages. 私の英語能力は13の質問のような場で活かすに十分である



15, My English proficiency is sufficient for working worldwide. 私の英語能力は世界的規模で働くに十分である



英語の役割の再考

- 世界語としての英語の社会的・政治的・経済的価値(Crystal 1997)

Crystal, D. (1997) *English as a Global Language*, Cambridge University Press

- 世界英語に代表される、英語の多様な地域的特徴や規範(Kachru, Kachru, & Nelson 2006)

Kachru, B. B., Kachru, Y., & Nelson, C. L. (eds.) (2006) *The Handbook of World Englishes*. Oxford: Blackwell.

- 言語帝国主義に象徴されるような、個人レベルから構造レベルにまで至る英語と英語以外の言語間の不平等、それに付随する英語話者と非英語話者との不平等 (Phillipson 1992, 2003)

Phillipson, R. (1992), *Linguistic Imperialism*, Oxford University Press.

Phillipson, R. (2003) *English-Only Europe?* Routledge

- 言語の死、少数言語の消滅 (Nettle & Romaine 2000; Skutnabb-Kangas 2000)

Skutnabb-Kangas, T. (2000) *Linguistic Genocide in Education--Or Worldwide Diversity and Human Rights?* Routledge

英語普及パラダイムと言語エコロジー

(津田 1993、トーヴェ・スクトナプ=カンガス 2000 in 津田2003)

津田幸男 (2003) 『英語支配とは何か—私の国際言語政策論』 明石書店

英語普及パラダイム

1. 単一言語主義と言語抹殺
2. 支配言語の引き算的な（少数言語を犠牲にする）学習の促進
3. 言語的、文化的メディア帝国主義
4. アメリカ化と世界文化の均質化
5. グローバル化と国際化のイデオロギー
6. 資本主義、階層化
7. 科学と技術に基づいた合理化
8. 近代化と経済的効率、量的成長
9. 超国家化
10. 二極化及び持てるものと持たざる者の格差拡大

言語エコロジーパラダイム

1. 多言語主義と言語的多様性
2. 足し算的な異言語・第二言語学習の促進
3. コミュニケーションの平等
4. 諸文化の維持と交流
5. ローカル化と交流のイデオロギー
6. 経済の民主化
7. 人権のパーспекティブ、全体的、包括的な諸価値
8. 多様性の促進による持続可能性、質的成長
9. 地域の生産物や国家主権の保護
10. 地球の物質的資源の再配分

調査の課題 (限界点、今後の課題)

限界点

- 調査対象国の拡大
- 調査参加者の男女比は女性が高い

今後の考察の課題

- イギリスのEU離脱における長期に渡っての影響
- 湾岸諸国の政治情勢による変化
- 国内の大学のグローバル人材教育の長期に渡る効果

参考文献

エコノミスト (2014) 英語と経済 (望月麻紀2014/1/14) 毎日新聞社

久保田竜子(2015) 『グローバル化社会と言語教育—クリティカルな視点から』 くろしお出版

フロリアン・クルマス Florian Coulmás(1993) 『ことばの経済学』 諏訪功／菊池雅子／大谷弘道 訳 大修館書店

斎藤憲二 (2010) 『株式会社ドバイ—メディアが伝えない商業国家の真実』 柏艚社

佐野陽子 (2009) 『ドバイのまちづくり—地域開発の知恵と発想』 慶応義塾大学出版会

高橋秀彰(2010) 『ドイツ語圏の言語政策』 関西大学出版部

田中富士美(2015) 「第8章 アラブ首長国連邦(UAE)ドバイにおける英語と経済—UAEナショナル/エミラティの女子大生の意識調査に基づく報告」 杉野俊子/原隆幸編 『言語と格差』 明石書店

津田幸男 (2003) 『英語支配とは何か—私の国際言語政策論』 明石書店

Garcia, O. and Mason, L. 2009. Where in the World is US Spanish? Creating a Space of Opportunity for US Latinos. In W. Harbert, S. McConnell-Ginet, A. Miller, and J. Whitman (eds.) *Language and Poverty*. Tonawanda, NY: Multilingual Matters.

Hassal, P.(2011) *Facets of Emirati Women: Japanses/English ESSC E-Book* 竹下裕子/田中富士美 編訳 アルクコミュニケーションズ(電子書籍 Amazon USA, Amazon UK, Amazon Germany)

Wee, L(2008) Linguistic instrumentalism in Singapore. In P. K. W. Tan & R. Rubdy (Eds.), *Language as commodity: Global structures, local market places* 31-43 London: Continuum

オンライン文献

文部科学省(2002) 「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想の策定について

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/020/sesaku/020702.htm

文部科学省(2012) グローバル人材の育成について

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/047/siry0/_icsFiles/afieldfile/2012/02/14/1316067_01.pdf

Weber, G(1999) Top Languages : The World's 10 Most Influential Languages. *AATF National Bulletin*, Vol. 24, No. 3 (January 1999) 22-28

<http://french.server276.com/bulletin/articles/promote/advocacy/useful/toplanguages.pdf>